

## セミナー「実務で使える地盤の地震応答解析」報告

平成19年10月3日（水）10～17時、建築会館ホールにおいて標記のセミナーが開催されました。参加者は、193名で会場が満席となる盛況ぶりでした。

講師は、東北学院大学教授の吉田望先生で、お一人で昼休みを挟み6時間の講義をしていただきました。内容・見た目ともに分かりやすく整理された320枚余りのスライドを駆使して、「地震波の伝播の基礎知識」、「地震動増幅のメカニズム」、「地盤材料の力学的特性」などの基礎的な事柄から、「地震応答解析の流れ」、「地震応答解析に用いる地盤の力学的特性の求め方」、「応力-ひずみ関係のモデル化」、「空間のモデル化」、「地震応答解析の各種方法とその長短」、「減衰の設定法」などについて、実務的立場から具体的に丁寧に解説して頂きました。「解析事例と評価」では、応答解析の結果と実際の地震観測記録を比較しながら、応答解析の結果の解釈の仕方を具体的に解説すると共に、解析事例数をこなして工学的判断力を身につけることの大切さを終始強調されました。

6時間のセミナーの内容は多岐にわたり、1日で全てを習得するのは困難とも思いましたが、各項目の終わりには「まとめ」があり、最後に「総まとめ」で締めくくるなど、短時間で理解を助けるような工夫が凝らされていました。講師の長年にわたる極めて豊富な実務経験に基づく地盤の地震応答解析の極意を授けて頂いた一日でした。

参加者からは、「日本地震工学会ならではの企画だった」、「今までくすぶっていた疑問や理解不足の問題が目から鱗が落ちるように解消された」、「多数のスライドがあり一日で理解するのは難しかったが、スライドの縮小版資料や資料巻末の87件の参考文献リストは貴重な参考資料になった」、「地震応答解析の各種方法の長所・短所が非常に分かりやすく為になった」、「数日かけて同じ内容の講習をやって欲しい」、「今後、何を勉強しなくてはいいかわかった」などの感想が寄せられました。

最後に、長時間にわたって貴重な講習を賜りました吉田望先生に心より御礼申し上げます。



会場の風景

（文責：事業企画委員会 若松加寿江 防災科学技術研究所）